

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

職業実践専門課程 環境デザイン学科 インテリアデザイン・コーディネート専攻

授業科目名	区分		配当年次 学期	授業時数
	必修	選択		
基礎製図	○		1年・前期	60
インテリア構法	○		1年・後期	60
住宅設計演習	○		2年・前期	60
インテリア概論	○		1年・前期	30
住まいと環境	○		1年・前期	30
インテリア計画Ⅰ	○		1年・前期	60
インテリア計画Ⅱ	○		2年・前期	60
インテリアデザイン基礎演習	○		1年・前期	60
インテリアデザイン応用演習	○		2年・前期	60
パースペクティブ基礎演習	○		1年・前期	60
基礎力学	○		1年・後期	30
インテリアエレメント	○		1年・前期	60
CAD演習Ⅰ	○		1年・前期	30
住空間計画	○		1年・後期	30
合 計				690

対象学科： 環境デザイン学科
対象専攻： インテリアデザイン・コーディネーション専攻
担当教員： 宮前和生 (非常勤講師)
実務経験： 商業施設・公共施設・住宅などのインテリア企画・立案・設計を業務とする
インテリアデザイン会社の代表として従事

科目名： **基礎製図**

履修形態： 必修
授業形態： 講義
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

■科目概要： 建築図面の描き方やルールを学び、各種図面を理解しながら作図出来る基礎的能力を身につける

■到達目標： 建築製図の基礎的知識、技法を学び、演習課題を通じて製図の手法、技法のみならず、部材名、構造、納まり等を習得する

■授業計画：

- 第1回 建築製図の基本(製図用具、製図のルール、JIS)
- 第2回 線と文字の練習
- 第3回 立体の理解(正投影図、アイソメ、アクソメ)
- 第4回 立体の理解(展開図)
- 第5回 木造平面図(グリッド、柱、大壁、真壁)
- 第6回 木造平面図(建具:窓、戸、造付け設備、タイル等割付線)
- 第7回 木造平面図(室名、出入口表示、寸法線)
- 第8回 立面図
- 第9回 断面図
- 第10回 配置図・屋根伏図
- 第11回 矩計図
- 第12回 基礎伏図(フーチング、床下換気口、土間コン)
- 第13回 床伏図(土台、大引、根太、束、火打ち)
- 第14回 小屋伏図(棟木、母屋、軒桁、梁、垂木、小屋束)
- 第15回 平面詳細図

■教科書： 株式会社学芸出版社 建築製図基本の基本

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科：環境デザイン学科
対象専攻：インテリアデザイン・コーディネーション専攻
担当教員：飯塚哉子（専任教員）
実務経験：ファブリケーターの設計部にてホテルや複合施設、庁舎等の鋼構造物の詳細設計（CADによる作図）を担当

科目名：CAD演習 I

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：1年次
開講学期：前期
授業時数：30時間
単 位：1単位

■科目概要：建築CADの概要、二次元CADによる作図の方法を学び、コンピュータを利用した設計・製図技能を習得する

■到達目標：CADによる建築設計製図のスキルと基礎理論の習得を目的とし、身近な空間を題材としてスケール感を把握し、的確に図面表現が出来る能力を養う

■授業計画：

- 第1回 基本操作1（作図環境の設定、2次元図形の基本的な作図）CAD製図のJIS規格
- 第2回 基本操作2（レイヤー、クラス、縮尺、寸法）
- 第3回 配置図の作図：線種表現（境界線、点景、方位、駐車場）
- 第4回 住宅の平面図：画面情報を利用した効率的な作図技術（柱、壁、開口部）
- 第5回 住宅の平面図：線分と面を利用した作図の概念（建具、設備機器）
- 第6回 住宅の平面図：図形登録を利用した効率的な作図技術（ハッチング、タイルパターン）
- 第7回 住宅の断面図：レイヤの概念と利用法（床高、天井高、軒高、最高高さ）
- 第8回 住宅の断面図：腰高、内法高、見えがかり
- 第9回 住宅の立面図：平面図からの投影下書き線
- 第10回 住宅の立面図：軒高、基礎高、開口部内法、屋根勾配
- 第11回 矩計図：材料構造表示記号、仕上材名称
- 第12回 天井伏図：換気口、点検口、天井埋込照明器具
- 第13回 床伏図：土台、大引、火打、根太
- 第14回 面積表、全体レイアウト
- 第15回 まとめ、ポートフォリオ（課題作品集）作成

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：CAD演習 II

■履修上の留意点：

対象学科： 環境デザイン学科
対象専攻： インテリアデザイン・コーディネーション専攻
担当教員： 五十嵐雄祐 (非常勤講師)
実務経験： 東京や札幌の設計事務所で実務を経験後、各種施設・店舗及び室内空間に関する企画、デザイン、管理等を手掛ける一級建築士事務所を設立。

科目名： **インテリア計画Ⅰ**

履修形態： 必修
授業形態： 講義＋演習
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

■科目概要： 建築と環境、各種建築物の計画に関する基礎的な知識と技術を習得し、豊かな建築空間を合理的に計画し、設計できる能力を養う

■到達目標： 建築計画の概念および設計プロセスの習得。条件（立地、予算、法規、機能）を整理検討し、具体的な形状や空間としてまとめる為の基本的な考え方を学ぶ。常用寸法やヒューマンスケールを身に付ける。

■授業計画：

- 第1回 地理的環境・機能と形態
- 第2回 安全性・美しさ・象徴性・法規と形態
- 第3回 人間の知覚と行動、歩行空間、建物の配置
- 第4回 寸法と規模の計画、単位空間と建築部位
- 第5回 空間構成技法（仕切りと連結）
- 第6回 住宅を形づくる要因（気候風土）
- 第7回 住宅の種類と作品
- 第8回 ライフスタイル、高齢化
- 第9回 住まいの性能
- 第10回 デザイン上の解法
- 第11回 リフォーム計画：リフォームの種類と内容
- 第12回 リフォーム計画：計画上の留意点
- 第13回 リフォーム計画：住宅性能の維持
- 第14回 リフォーム計画：快適性の向上
- 第15回 リノベーション

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目： インテリア計画Ⅱ

■履修上の留意点：日常生活の中にある空間や物の寸法、素材、納まり等を興味を持って観察して欲しい

対象学科：環境デザイン学科
対象専攻：インテリアデザイン・コーディネーション専攻
担当教員：野村和也（非常勤講師）
実務経験：設計事務所にて、保育園やクリニック、集合住宅などを担当し、独立後、住宅、店舗などの設計監理や木造住宅耐震診断員として従事。

科目名： **住まいと環境**

履修形態：必修
授業形態：講義
履修学年：1年次
開講学期：前期
授業時数：30時間
単 位：1単位

- 科目概要：安全・衛生的かつ快適な環境を実現するための基礎的な事項を学び、建築をとりまく自然環境の特性、熱移動の基本的プロセス、熱の平衡、人間の感覚と快適環境条件を理解する
- 到達目標：熱・空気・音・光環境のメカニズムとこれらの測定技術、制御技術を理解し、人間が建物内で快適な生活を送る為の室内環境整備の基準や方法を学ぶ

■授業計画：

- 第1回 熱環境Ⅰ：室内環境と温熱感覚、熱損失と熱取得
- 第2回 熱環境Ⅱ：熱伝導、熱貫流率、熱損失係数、遮熱
- 第3回 熱環境Ⅲ：室温と熱負荷、不快指数、快適域
- 第4回 光環境Ⅰ：日照と日射、日影線図、日影時間の検討
- 第5回 光環境Ⅱ：採光上有効な窓、光の単位と法則、採光計画
- 第6回 光環境Ⅲ：室内照度分布、照明計画
- 第7回 空気環境Ⅰ：空気質と換気、必要換気量、換気方式
- 第8回 空気環境Ⅱ：換気と通風の力学、圧力差、圧力損失
- 第9回 空気環境Ⅲ：通風、室内気流と温度分布
- 第10回 湿気Ⅰ：水蒸気量、空気線図、露点温度
- 第11回 湿気Ⅱ：壁体の結露、(表面結露と内部結露)
- 第12回 音環境Ⅰ：音の伝搬と減衰、室内音響
- 第13回 音環境Ⅱ：吸音・遮音特性、住宅内装計画
- 第14回 音環境Ⅲ：騒音・振動の計測とその評価、環境基準
- 第15回 電磁環境：電磁環境とその障害、電磁シールド技術

■教科書：

■参考書：学芸出版社 専門士課程 建築計画

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：日常生活の中で室内照明や音響効果、室内気流と空気、温度や湿度等に関心を持ち、周辺環境を注意深く観察し、疑問を持って講義に臨んでほしい。

対象学科：環境デザイン学科
対象専攻：インテリアデザイン・コーディネーション専攻
担当教員：増永佳奈（非常勤講師）
実務経験：建築設計事務所・工務店勤務を経て『日々暮色舎』を設立し住宅リフォームを中心に家づくりを総合的に行っている。北海道インテリアコーディネーター協会会長

科目名： **インテリアエレメント**

履修形態：必修
授業形態：講義＋演習
履修学年：1年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要：建築内部空間の「しつらえ」に関する部分について日常生活における具体例、実物を見ながら授業展開を行う

■到達目標：室内を構成する要素である建具等の材料特性、加工方法、仕組みについて理解する

■授業計画：

- 第1回 エレメントの分類と特性：製品の規格・性能、選定、発注、設置
- 第2回 建築の一部を構成し工事を伴うエレメント①（造作系：内装仕上げ部材、建具部材）
- 第3回 建築の一部を構成し工事を伴うエレメント①（構造や下地の基礎知識）
- 第4回 建築の一部を構成し工事を伴うエレメント①（造作系：間仕切、収納部材、階段）
- 第5回 建築の一部を構成し工事を伴うエレメント②（設備系：給排水、換気・空調設備機器）
- 第6回 建築の一部を構成し工事を伴うエレメント②（設備系：水回り、照明電機設備機器）
- 第7回 生活行為をサポートする用具系エレメント
- 第8回 生活環境を整えるエレメント（ウインドートリートメント）
- 第9回 関連エレメント
- 第10回 メーカーのショールーム見学（実物確認）コーディネーションボードの作成
- 第11回 建具（内部建具、外部建具、建築金物）
- 第12回 床（木質系、プラスチック系、石・タイル系、繊維系）
- 第13回 壁（塗壁、タイル、壁装、間仕切）
- 第14回 天井（直天井、吊り天井）
- 第15回 照明（照明方法、照明方式、建築化照明、昼光率）

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科：環境デザイン学科
対象専攻：インテリアデザイン・コーディネーション専攻
担当教員：松原祐子（非常勤講師）
実務経験：大手企業のインテリアデザイナーとして、戸建て住宅・マンションのモデルルーム企画デザイン及びデザイン監理業務を担当

科目名：パースペクティブ基礎演習

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：1年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要：設計意図を的確にクライアントに伝え、かつ自身の空間イメージの把握として、パース技法を習得する

■到達目標：パースを通して空間のスケールと形態、開口部の位置や納まりを自己確認する能力を養う

■授業計画：

- 第1回 透視図の基本と用語。SPの距離と見え方、HL、ELの高さと見え方
- 第2回 基本プランニング・エスキース
- 第3回 平面計画：イメージパース（一消点透視図）
- 第4回 基本設計：イメージパース（一消点透視図）
- 第5回 平面図：イメージパース（二消点透視図）
- 第6回 平面図：イメージパース（二消点透視図）
- 第7回 展開図：リアスティックな内観パース（エレメントの配置）
- 第8回 天井伏図：照明計画・俯瞰図
- 第9回 断面図、アイソメ
- 第10回 断面図、アクソメ
- 第11回 立面図、外観パース（ファサード・テクスチャ）
- 第12回 立面図、外観パース（窓・ミラーの表現）
- 第13回 完成予想パース
- 第14回 鳥瞰図、樹木の表現と種類
- 第15回 プレゼンテーション、講評

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科：環境デザイン学科
対象専攻：インテリアデザイン・コーディネーション専攻
担当教員：野村和也（非常勤講師）
実務経験：設計事務所にて、保育園やクリニック、集合住宅などを担当し、独立後、住宅、店舗などの設計監理や木造住宅耐震診断員として従事。

科目名： **インテリア概論**

履修形態：必修
授業形態：講義
履修学年：1年次
開講学期：前期
授業時数：30時間
単 位：1単位

■科目概要：インテリアデザイン、コーディネーションボード等の作成を中心にもの創りの楽しさを学ぶ。また、コンペ等に積極的に取り組む

■到達目標：インテリアデザイナー、コーディネーターとして必要な知識、技術を身に付け、実践する能力を養う

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション(インテリアデザイン、コーディネーターの仕事について)
- 第2回 インテリアの歴史・インテリア計画
- 第3回 コーディネーション、インテリアデザイン計画(コーディネーションボード制作)
- 第4回 コーディネーション、インテリアデザイン計画(コーディネーションボード制作)
- 第5回 コーディネーション、インテリアデザイン計画(コーディネーションボード制作)
- 第6回 インテリアエレメント・関連エレメント(インテリアエレメントボード作成)
- 第7回 インテリアエレメント・関連エレメント(インテリアエレメントボード作成)
- 第8回 インテリアエレメント・関連エレメント(インテリアエレメントボード作成)
- 第9回 インテリア構造
- 第10回 インテリア構法
- 第11回 インテリアコーディネーション・デザインの表現(設計図書について)
- 第12回 インテリアコーディネーション・デザインの表現(デザインのためのクイックパース)
- 第13回 インテリアコーディネーション・デザインの表現(デザインのためのクイックパース)
- 第14回 インテリアコーディネーション・デザインの表現(プレゼンテーション)
- 第15回 インテリアコーディネーション・デザインの表現(プレゼンテーション)

■教科書：インテリアコーディネーターハンドブック

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科：環境デザイン学科
対象専攻：インテリアデザイン・コーディネーション専攻
担当教員：吉田修（非常勤講師）
実務経験：大手ゼネコン設計部にて商業施設系の設計に携わった後、ヘルシンキ工科大学建築学科への留学で北欧デザインを学ぶ。一級建築士事務所主宰。

科目名： **インテリアデザイン基礎演習**

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：1年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要： 著名なインテリアデザイナーについて調べ、その分析を通じて業界の仕事に触れる。照明器具のシェード製作を通して機能とデザインの基礎を学ぶ

■到達目標： グループ作業を通じて協働で作業することの大切さ、他人の意見を尊重するという社会人としてのマナーを身に付ける。照明製作を通じてイメージを形にする難しさと達成感を学び言葉を使わずに意図を伝えるというデザインの役割を体験する

■授業計画：

- 第1回 事例分析1: デザインの意味、役割について考える。著名なインテリアデザイナーの紹介
- 第2回 事例分析2: デザイナーのキャリア、デザインに対する考え方についてグループ学習
- 第3回 事例分析3: 中間発表を通して最初の自分の考え方との差異を議論
- 第4回 事例分析4: デザイナーの思いや考えがどのように形に表現されているか分析
- 第5回 事例分析5: 最終発表、プレゼンテーション
- 第6回 照明器具の製作1: 照明の果たす役割、種類について
- 第7回 照明器具の製作2: ファーストアイデアをプレゼンテーション
- 第8回 照明器具の製作3: ペーパーモデル(S=1/3)の製作(デザイン意図と形の整合性)
- 第9回 照明器具の製作4: 試作を重ね、アイデアの進化、改良
- 第10回 照明器具の製作5: プロポーション、ディテールを詰める
- 第11回 照明器具の製作6: ペーパーモデル(原寸)の製作
- 第12回 照明器具の製作7: 電球器具の取り付け(熱、大きさ、明るさ)
- 第13回 照明器具の製作8: ペーパーモデル(原寸)の発表。修正点洗い出し
- 第14回 照明器具の製作9: 最終モデルの製作(材質の違いによる問題点)
- 第15回 照明器具の製作10: 最終発表(消灯、点灯時の照明としての役割、造形、意図を議論)

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目： インテリアデザイン応用演習

■履修上の留意点：

対象学科：環境デザイン学科
対象専攻：インテリアデザイン・コーディネーション専攻
担当教員：五十嵐雄祐（非常勤講師）
実務経験：東京や札幌の設計事務所で実務を経験後、各種施設・店舗及び室内空間に関する企画、デザイン、管理等を手掛ける一級建築士事務所を設立。

科目名：住空間計画

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：1年次
開講学期：後期
授業時数：30時間
単 位：1単位

■科目概要：前期で学んだ建築知識を総合的に活用し、快適で美しい建築物を設計する実務的能力を養う

■到達目標：現地調査を行い、プランから設計まで、住宅設計に係る一連の流れを習得し、プレゼンシートとしてまとめる

■授業計画：

- 第1回 設計事例紹介、設計条件の確認(用途地域、高さ制限)
- 第2回 現地調査(周辺環境、近隣との関係)、エスキース
- 第3回 設計主旨と配置プラン
- 第4回 ボリューム模型
- 第5回 配置図、平面プラン
- 第6回 採光・換気・設備に関する法規制
- 第7回 平面図
- 第8回 立面図
- 第9回 断面図
- 第10回 面積表
- 第11回 模型
- 第12回 内観パース
- 第13回 外観パース
- 第14回 プレゼンテーション
- 第15回 合評

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科：環境デザイン学科
対象専攻：インテリアデザイン・コーディネーション専攻
担当教員：吉田修（非常勤講師）
実務経験：大手ゼネコン設計部にて商業施設系の設計に携わった後、ヘルシンキ工科大学建築学科への留学で北欧デザインを学ぶ。一級建築士事務所主宰。

科目名： **インテリア構法**

履修形態：必修
授業形態：講義＋演習
履修学年：1年次
開講学期：後期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要： インテリアの構造・構法と仕上げに関する知識を解説。建築の技術用語、基礎的な構造形式を習得する。

■到達目標： 建築構造の基礎的な技術用語、納まりを理解し、習得した技術用語をベースに専門性の深掘りが行えるようにする。

■授業計画：

- 第1回 木構造と木材
- 第2回 鉄骨構造と鋼材
- 第3回 鉄筋コンクリート構造とコンクリート
- 第4回 その他の構造
- 第5回 プレハブ構法
- 第6回 床の構法(下地と仕上げ) 演習課題1
- 第7回 壁の構法(下地と仕上げ) 演習課題2
- 第8回 開口部(下地と仕上げ) 演習課題3
- 第9回 天井の構法(下地と仕上げ)
- 第10回 スペースユニット
- 第11回 造作と造作材、建具
- 第12回 断熱材料
- 第13回 吸音材と遮音材
- 第14回 防火材料
- 第15回 防水材料・シール材・接着剤

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：建築技術の全体像を把握し、専門用語を習得して欲しい。

対象学科： 環境デザイン学科
対象専攻： インテリアデザイン・コーディネーション専攻
担当教員： 飯塚哉子 (専任教員)
実務経験： ファブリケーターの設計部にてホテルや複合施設、庁舎等の鋼構造物の詳細設計・構造設計・積算を担当

科目名： **基礎力学**

履修形態： 必修
授業形態： 講義＋演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 30時間
単 位： 1単位

- 科目概要： 構造力学の基本事項として、建築構造物の種類、力のつり合い、構造物のモデル化と作用する外力、構造物に生じる応力と変形を理解する
- 到達目標： 安全な構造物を設計するための基礎として力と変形の関係について学び、簡単な構造物の変形や応力の解析を行える能力を演習を通して養う

■授業計画：

- 第1回 ガイダンス、基礎数理、構造の役割と構成
- 第2回 力の合成と分解、力のつり合い、使用単位
- 第3回 構造物のモデル化、構造物に作用する荷重、支点と反力
- 第4回 構造物の安定・不安定、静定構造物の反力の算定
- 第5回 静定ばりの応力算定：片持ち梁、単純梁
- 第6回 静定ばりの応力算定：跳ね出し梁
- 第7回 静定ラーメンの応力算定：応力図(M,N,Q)
- 第8回 片持ちばり系、単純ばり系、3ピンラーメン
- 第9回 静定トラスの応力算定：トラスの種類、トラスの解法
- 第10回 静定トラスの応力算定：節点法、切断法
- 第11回 断面の性質、断面一次モーメント、断面二次モーメント
- 第12回 断面係数、断面2次半径、断面極2次モーメント
- 第13回 垂直・せん断応力度、曲げ応力度、許容応力度
- 第14回 部材の変形、 σ - ε 曲線、たわみ
- 第15回 座屈、期末テスト

■教科書： 実教出版株式会社 最新建築構造設計入門 -力学から設計まで-

■参考書： 株式会社 学芸出版社 <専門士課程> 建築構造

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：高等学校における数学と物理学(特に力学)の履修を前提としている為、各自の理解を確認して問題集等に取り組んで欲しい。

対象学科：環境デザイン学科
対象専攻：インテリアデザイン専攻
担当教員：大塚裕介（専任教員）
実務経験：設計事務所にて商業施設・公共施設・住宅などの設計に携わった後、建築設計・プロダクトデザインを手掛けるデザイン事務所を主宰

科目名：住宅設計演習

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要：住宅設計に係る基礎的な知識、技術、工法を踏まえ演習課題を通して住空間をデザインする基礎力を養う。

■到達目標：ゾーニング、動線、建築構成要素等を学び、作図表現する能力、設計技術の基本を習得する。

■授業計画：

- 第1回 住宅における人間工学と単位空間
- 第2回 住宅における環境工学とユニバーサルデザイン
- 第3回 木造の特性と2×4・RCの壁量
- 第4回 住宅設計課題1(敷地調査、状況分析、エスキース)
- 第5回 // 制作1 平面図(通り芯・壁厚・内外壁の仕上げ)
- 第6回 // 制作2 敷地・配置図
- 第7回 // 制作3 立面図開口部のバランスとファサード
- 第8回 // 制作4 細部構成・設備器具・家具
- 第9回 プレゼンテーション、講評会
- 第10回 住宅設計課題2(二世帯住宅)コンセプト立案、デザイン展開
- 第11回 // 制作1 二世帯の関係性と配置の作図
- 第12回 // 制作2 二世帯の断熱計画と生活時間帯(平面・断面図)
- 第13回 // 制作3 階段～機能と演出効果、照明～光と影
- 第14回 // 制作4 植栽の書き方と面積表・駐車場
- 第15回 プレゼンテーション、講評会

■教科書：

■参考書：コンパクト建築設計資料集成「住居」(日本建築学会)

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 環境デザイン学科
対象専攻： インテリアデザイン専攻
担当教員： 五十嵐雄祐 (非常勤講師)
実務経験： 東京や札幌の設計事務所で実務を経験後、各種施設・店舗及び室内空間に関する企画、デザイン、管理等を手掛ける一級建築士事務所を設立

科目名： **インテリア計画Ⅱ**

履修形態： 必修
授業形態： 講義
履修学年： 2年次
開講学期： 前期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

■科目概要： 住宅空間に焦点を当て、その実例等を等を通してディテール、建築手法、計画における幅広い知識を習得する。

■到達目標： 住宅に係る要素を学び、それぞれの関係性の比重によって住宅の形態が多様であることを理解する。

■授業計画：

- 第1回 住宅について:住宅建築の位置付け、多様な住宅
- 第2回 住宅の要素Ⅰ:外的環境(自然、地形、立地条件)
- 第3回 住宅の要素Ⅱ:人的環境(建築技術、生業体系、防犯、社会形態)
- 第4回 住宅の要素Ⅲ:文化形態、住宅の多様性
- 第5回 建築計画:建築計画の理論と方法
- 第6回 住生活と生活構造:住宅は住生活の為の空間、住生活内容の成員、生活行為
- 第7回 団欒・食事空間:居間、食事室の意義と要求条件、計画の要点
- 第8回 家事空間:台所を中心に社会・技術の発展に伴う家事空間の変遷と求められる要点
- 第9回 就寝空間:日本における特殊性と個室としての就寝空間の課題と計画条件
- 第10回 生理・衛生空間:浴室、洗面所、WCの計画上の要点
- 第11回 連絡空間、屋外空間:玄関、廊下、階段、庭、サービスヤードの計画上の要点
- 第12回 計画手法:配置計画上の要点、平面計画を行う上でのゾーニング、動線分離の解説
- 第13回 日本の住宅:日本住宅における構成上の特色
- 第14回 世界の住宅:世界の住宅における構成上の特色
- 第15回 今後の住宅課題:現在の住宅に至るまでの移り変わり、今後の住宅の在り方

■教科書：

■参考書： コンパクト建築設計資料集成「住居」(日本建築学会)

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目： インテリア計画Ⅰ

■履修上の留意点：

対象学科： 環境デザイン学科
対象専攻： インテリアデザイン専攻
担当教員： 吉田修 (非常勤講師)
実務経験： 大手ゼネコン設計部にて商業施設系の設計に携わった後、ヘルシンキ工科大学建築学科への留学で北欧デザインを学ぶ。一級建築士事務所主宰

科目名： **インテリアデザイン応用演習**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 2年次
開講学期： 前期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

- 科目概要： 既存シティホテルの改修課題。実際の物件を対象に現地視察を行い周辺状況の確認から課題条件を読み解き、各自で課題対象範囲に対してテナントの設定とインテリアの提案を行う。
- 到達目標： 与えられた時間内にアイデアをまとめ、それを実際のクライアントを想定して見る人に分かるレベルとし、更にプロとして責任をもって説明できることを目指す。

■授業計画：

- 第1回 図面の解読と条件把握。事前に問題点を論議整理
- 第2回 現地見学、情報収集
- 第3回 中間発表(実現可能性について論議)
- 第4回 模型製作及び事例情報の収集①
- 第5回 模型製作及び事例情報の収集②
- 第6回 中間発表(白模型の提出とアイデアスケッチ)
- 第7回 空間造形①(平面図、断面図)
- 第8回 空間造形②(平面図、断面図)
- 第9回 中間発表(図面と模型の提出)プレゼンテーション
- 第10回 フィードバック(発表で指摘された部分の修正作業)
- 第11回 詳細検討(素材、什器、照明etc.)
- 第12回 中間発表(図面と模型の提出)修正点の説明
- 第13回 模型及び図面の仕上げ①
- 第14回 模型及び図面の仕上げ②
- 第15回 最終発表

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目： インテリアデザイン基礎演習

■履修上の留意点：